

2020年9月1日～2024年10月31日の間に
エムアールアイ
当科において腓腫瘍に対し M R I 検査を受けられた方及びご家族の方へ

「腓癌における chemical-exchange saturation-transfer (CEST) ^{セスト} ^{エムアールアイ} M R I の有用性に関する
研究 - 多機関共同研究 - 」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学機能・代謝画像診断学 教授 福倉良彦
研究分担者 川崎医科大学 放射線診断学 講師 神吉昭彦
川崎医科大学 機能・代謝画像診断学 特任研究員 竹内省吾
川崎医科大学附属病院 放射線診断科 レジデント 佐藤佑樹

1. 研究の概要

予後の悪い腓癌の治療には、治療効果や予後を考慮した適切な治療法の選択が必要です。近年、MRI 検査により CEST 画像という従来の画像診断では得ることのできなかつた腫瘍内環境の情報反映する画像の撮像が可能になりました。

本研究は、日常診療で得られた腓癌の CEST MRI 検査の画像所見と転帰（治療効果や予後）との関連を検討することを目的とした多機関で行われる後ろ向き観察研究です。今回の研究によって、腓癌の適切な治療法の選択とそれによる予後の改善に寄与することが期待されます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2020年9月1日～2024年10月31日の期間において、組織学的に腓癌と診断され、治療前に CEST 画像を含めた MRI 検査が施行された方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026年12月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において治療前に CEST 画像を含めた MRI 検査が施行され、組織学的に腓癌と診断された方で、研究者が診療情報をもとに臨床データ（年齢、性別、腫瘍部位、腫瘍径、病期分類、腫瘍マーカ、治療法、転帰）と治療前に撮像された CEST MRI 画像の分析を行い、画像所見と転帰（治療効果と予後）との関連について調べます。

個人情報を含む情報等は研究責任者（福倉良彦）が責任を持って保管致します。

4) 使用する情報の種類

臨床情報：年齢、性別、主訴、生活歴、腫瘍マーカ、病理結果、転帰（治療効果と予後）等
画像：MRI（アミド基信号、pH、緩和時間、かけ上の拡散係数、細胞外分画）

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学機能・代謝画像診断学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 放射線科（画像診断）
氏名：福倉良彦
電話：086-462-1111 内線 25502（平日：9時00分～16時30分）
ファックス：086-464-1123
Email：fukukura@med.kawasaki-m.ac.jp

<研究組織>

研究代表機関 川崎医科大学
研究代表責任者 川崎医科大学 機能・代謝画像診断学 教授 福倉良彦

共同研究機関
鹿児島大学 放射線診断学 特任助教 恵島史貴

3. 資金と利益相反

この研究は、公的研究費と学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。